



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 富士興産株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5009 URL <https://www.fkoil.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保谷 尚登  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 松崎 博文 TEL 03 (6859) 2050  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,187	△31.2	542	57.1	746	79.6	556	133.0
2020年3月期第3四半期	40,969	△8.0	345	35.5	415	32.4	238	6.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 540百万円 (69.4%) 2020年3月期第3四半期 319百万円 (33.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	69.63	—
2020年3月期第3四半期	28.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,612	9,887	56.1
2020年3月期	18,123	9,541	52.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,887百万円 2020年3月期 9,541百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△29.4	600	75.8	800	93.8	600	6.1	75.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	8,743,907株	2020年3月期	8,743,907株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	772,604株	2020年3月期	620,308株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	7,987,041株	2020年3月期3Q	8,278,975株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における我が国経済につきましては、収束に向かうと思われた新型コロナウイルスの感染拡大は、夏場より一転増加傾向となりました。特に冬場を迎えてからは、世界的に感染の速度を増し、この影響により輸出・国内消費ともに足踏みの状態が続き停滞感を強めました。

石油業界におきましては、原油価格は、産油国の足並みの乱れや、世界経済低迷による需要の減少懸念などから急落し、4月にはドバイ原油で20ドル/バーレルを割り込みました。その後は、産油国の協調減産の実施などの対応策から、6月には40ドル/バーレル台まで回復し、安定した動きとなりました。国内の石油製品需要は、コロナウイルス感染拡大の影響などによる経済活動の停滞から、ほぼ全ての油種で前年同期を下回りました。

このような経営環境の下で、当社グループは、当期を中期経営計画『「FK20 次代への進化と挑戦」～さらなる企業価値向上を求めて～』の最終年度として捉え、目標達成を目指して基本方針と事業別施策に沿って、各事業に取り組んでまいりました。特に、当社グループのコア事業である石油事業では、採算重視の販売政策への対応に全社を挙げて取り組み、損益面では今まで経験のない暖冬に見舞われた前年同期の実績は上回ることができたものの、国内市況は需要の低迷などから厳しい環境が続きました。

また、ホームエネルギー事業の業績につきましては、新規顧客の獲得に係る経費の増加により前年同期を若干下回り、レンタル事業も、公共・民間工事の減少などから、好調であった前年同期を下回りました。なお、両事業におきましては、ともに計画の利益は上回っております。環境関連事業として取り組んでいるメガソーラー発電事業につきましては、新たに取得した岩手県の2発電所がフル稼働となり、利益は前年同期、計画ともに上回ることができました。

この結果、当第3四半期の業績につきましては、売上高は、石油事業における原油価格急落に伴う製品販売価格の下落や販売数量の減少により、前年同期比127億円(31.2%)減少の281億円となりました。損益面では、売上総利益は、石油事業における採算の改善や環境関連事業の好調などから、前年同期比167百万円(5.8%)増加の3,058百万円となり、営業利益は、前年同期比197百万円(57.1%)増加の542百万円となりました。また、経常利益は、受取配当金の増加も加わり、前年同期比330百万円(79.6%)増加の746百万円となり、法人税等を調整した親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比317百万円(133.0%)増加の556百万円となりました。

なお、当第3四半期の営業活動に対する新型コロナウイルス感染拡大の影響につきましては、現在、石油事業の販売数量、レンタル事業の工事件数にその影響とみられる減少が出てきております。現状、経営成績に与える影響は軽微であるものの、今後の需要動向につきましては不透明感を増してしております。このため事業環境については更に注視し、営業活動を進めてまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①当第3四半期連結会計期間末の財政状態

当第3四半期末の総資産は、前会計年度末に比べ511百万円減少の17,612百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の減少516百万円や受取手形及び売掛金の減少121百万円などの減少要因の合計額が、現金及び預金の増加567百万円などの増加要因を上回ったことによるものであります。

また、負債合計は、前会計年度末に比べ856百万円減少の7,724百万円となりました。この主な要因は、未払金の減少1,483百万円などの減少要因の合計額が、支払手形及び買掛金の増加321百万円などの増加要因を上回ったことによるものであります。

純資産合計は、利益剰余金の増加426百万円などにより、前会計年度末に比べ345百万円増加の9,887百万円となり、自己資本比率は56.1%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により増加した資金が、投資活動及び財務活動により使用した資金の合計額を上回り、第3四半期末の資金残高は前会計年度末に比べ567百万円増加して4,090百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は1,818百万円(前年同期は817百万円の増加)となりました。これは税金等調整前四半期純利益826百万円や仕入債務の増加額307百万円などの資金増加要因と、減価償却費503百万円などの非資金項目によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,174百万円(前年同期は401百万円の使用)となりました。これは有形固定資産の取得による支出1,383百万円や無形固定資産の取得による支出321百万円などの資金減少要因が、解約返戻金による収入462百万円などの資金増加要因を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は76百万円(前年同期は143百万円の使用)となりました。これは配当金の支払額129百万円や自己株式取得による支出64百万円などの資金減少要因が、自己株式取得のための預託金の減少額123百万円などの資金増加要因を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年10月30日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,522	4,090
受取手形及び売掛金	6,227	6,105
商品及び製品	450	401
その他	564	244
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	10,760	10,836
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,986	1,887
土地	1,263	1,263
その他(純額)	2,856	2,439
有形固定資産合計	6,107	5,590
無形固定資産	620	577
投資その他の資産	635	606
固定資産合計	7,362	6,775
資産合計	18,123	17,612
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,559	4,881
未払法人税等	64	160
預り金	1,129	1,180
災害損失引当金	64	—
その他	2,215	923
流動負債合計	8,032	7,146
固定負債		
引当金	57	64
退職給付に係る負債	465	486
その他	26	27
固定負債合計	548	578
負債合計	8,581	7,724
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,527	5,527
資本剰余金	48	48
利益剰余金	4,242	4,668
自己株式	△382	△447
株主資本合計	9,436	9,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105	89
その他の包括利益累計額合計	105	89
純資産合計	9,541	9,887
負債純資産合計	18,123	17,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	40,969	28,187
売上原価	38,077	25,128
売上総利益	2,891	3,058
販売費及び一般管理費	2,546	2,516
営業利益	345	542
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	18	154
固定資産賃貸料	69	68
業務受託料	21	21
軽油引取税交付金	18	23
その他	13	7
営業外収益合計	141	276
営業外費用		
支払利息	6	5
固定資産賃貸費用	33	37
業務受託費用	22	23
その他	7	6
営業外費用合計	71	71
経常利益	415	746
特別利益		
固定資産売却益	49	54
受取補償金	—	27
特別利益合計	49	81
特別損失		
固定資産除却損	0	1
災害による損失	66	—
その他	0	0
特別損失合計	66	2
税金等調整前四半期純利益	399	826
法人税、住民税及び事業税	53	250
法人税等調整額	107	19
法人税等合計	160	270
四半期純利益	238	556
親会社株主に帰属する四半期純利益	238	556

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	238	556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	80	△15
その他の包括利益合計	80	△15
四半期包括利益	319	540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319	540
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	399	826
減価償却費	412	503
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12	3
修繕引当金の増減額 (△は減少)	3	3
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△598	—
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△64
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3	21
受取利息及び受取配当金	△18	△154
固定資産売却損益 (△は益)	△49	△54
受取補償金	—	△27
災害損失	66	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△805	121
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△31	49
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,232	307
未払金の増減額 (△は減少)	259	△217
その他	51	469
小計	907	1,788
利息及び配当金の受取額	18	154
利息の支払額	△4	△3
補償金の受取額	—	27
法人税等の支払額	△132	△148
法人税等の還付額	28	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	817	1,818
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△435	△1,383
有形固定資産の売却による収入	59	63
無形固定資産の取得による支出	△27	△321
解約返戻金による収入	—	462
その他	2	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401	△1,174
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
割賦債務の返済による支出	△10	△5
自己株式の取得による支出	△0	△64
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	0	123
配当金の支払額	△133	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143	△76
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	272	567
現金及び現金同等物の期首残高	3,214	3,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,486	4,090

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	ホームエネ ルギー事業	レンタル 事業	環境関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,825	1,031	1,581	530	40,969	—	40,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	155	9	4	0	169	△169	—
計	37,981	1,040	1,585	530	41,138	△169	40,969
セグメント利益又は損 失(△)	△89	85	237	111	344	0	345

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	ホームエネ ルギー事業	レンタル 事業	環境関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,961	1,042	1,506	676	28,187	—	28,187
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135	8	5	0	149	△149	—
計	25,096	1,050	1,512	677	28,337	△149	28,187
セグメント利益又は損 失(△)	155	74	198	113	542	△0	542

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。